



矯正を知ろう！再犯防止をもっと身近に！

CONTENTS

- ・矯正施設所在自治体会議 九州地域部会開催！
- ・インタビュー 豊後大野市長(矯正施設所在自治体会議九州地域部会議長)
- ・検証！当事者の語りから学ぶ 立ち直りのリアル

きょうせいだよりってなに？



本誌は、地方公共団体や民間団体の皆さまに、法務省の再犯防止の取組や矯正施設のことなどを知ってもらいたいという思いを込めて配信するお便りです。日々の業務の合間に手に取ってご覧いただき、私たち矯正のことを少しでも身近な存在として感じていただくと幸いです。

矯正施設所在自治体会議 九州地域部会開催！

当日は、大分少年院の施設概況説明をはじめ、施設見学、豊後大野保護区保護司会の黒木会長の御講演、中津少年学院と地域との連携事例、福岡矯正管区が行った「再犯防止×地方創生政策ワークショップ」型研修の内容共有、長崎刑務所で実施している「知的障害受刑者処遇・支援モデル事業」の周知、各自治体で実施している再犯防止施策の共有等大変充実した内容で行われました。



令和6年1月31日(水)、大分少年院において、令和5年度矯正施設所在自治体会議九州地域部会が開催されました。今年度は、大分少年院が所在する大分県豊後大野市が議長自治体として運営に当たられ、本会議が発足した令和元年度以来の参集開催となりました。九州地域部会は14自治体が会員となっており、8自治体が出席され、首長におかれては、豊後大野市長をはじめ、鹿児島県始良郡湧水町長、沖縄県糸満市長が御出席されました。



令和4年時点において、47.9%となつており、刑法犯検挙者中の再犯者率を低下させるべく、刑務所や少年院などの矯正施設においては、再犯防止のための各種教育や福祉的支援の充実等により、鋭意取り組んでいるところではあります。また、真に再犯防止を達成するためには、社会において彼ら彼女らを迎えるための地方自治体や民間協力者等の地域の方々の理解が欠かせません。そのような中、本会においては、各自治体の熱い思いを持って、再犯防止のための施策に尽力されていることが分かります。大変心強く感じた次第です。この場を借りて改めて感謝申し上げます。矯正施設退所者というのは、日本の全人口から見れば、わずかかもしれませんが、安全・安心な社会を実現していくためには、時には手を差し伸べ、時には背中を押すなどして寄り添い支えることが必要です。今後とも矯正施設とその所在自治体の連携を更に強化し、再犯防止を推進していければと思います。引き続きのお力添えをよろしくお願い申し上げます。



矯正施設所在自治体会議とは

矯正施設が所在する自治体の首長が構成員となり、積極的に地域における再犯防止施策等を推進することを目的として、情報交換、調査研究等を行うために設立された自治体主導の会議体のこと。

BUNGOONO
豊後大野市

ぶんごおおの

豊後大野市

interview

川野文敏さん
— 豊後大野市長 —

川野市長の声

今年度から矯正施設所在自治体会議九州地域部会の議長を務めている豊後大野市の川野市長に、豊後大野市における再犯防止の取組や犯罪や非行をした者の立ち直りについての思いなどについてお話を

大分県豊後大野市

豊後大野市は、大分県の南部に位置する人口約三万三千人の市です。平成17年に、三重町、清川村、緒方町、朝地町、大野町、千歳村、犬飼町の5町2村が合併して誕生しました。



大分県

お聞かせいただくべく、インタビューを行いました。

福原…豊後大野市はどのような街ですか？

川野…豊後大野市は、山あい自然豊かな街です。農業で発展してきた街であり、「**大分の野菜畑**」と呼ばれるほど肥沃な農業地帯が広がっています。また、この一帯の大地は、約9万年前の阿蘇山の大噴火による大規模な火砕流によって形成されたものであり、独特な地形をはじめとするダイナミックな景観が特徴です。**日本ジオパークとユネスコエコパーク**の両方に認定されており、教育、産業、観光などの起点になっています。さらに、豊後大野市にはもう一つ大きな特徴があります。それは、大分県は日本一の「おんせん県」をうたっているのですが、**温泉が一つもない**ということです。ただ、岸壁に穴を掘り、薬草を炊き上げ、蒸し風呂を楽しむ文化が古くからあったことから、豊後大野市では、「**サウナのまち**」を

宣言し、大自然を生かしたアウトドアサウナを観光資源として活用しています。

課題としては、人口減少があり、関係人口（特定の地域に継続的にかかわる人）を増やすための取組をしています。その一つが、**スポーツツーリズム**であり、東京オリンピックの代表チームが合宿をしたカヌー場があるほか、複数の競技が楽しめる全天候型運動場を備えるなどして、国内外問わず多くの方々に足を運んでいただいています。



「『ようこそ、よく帰ってきてくれました。』という気持ちで迎えます。」

福原…今年度から矯正施設所在自治体会議九州地域部会の議長をされていますが、引き受けた思いについて、お聞かせください。

川野…議長の話をしていただいたとき、うちのような小規模自治体が議長を引き受けてよいものかと感じたのが正直なところですよ。しかし、私自身から頼まれたら嫌とは言えない性格でもあり、また、声を掛けていただいたときが一番期待されているときであると思っていることから議長をさせていただくことにしました。今回、本市で九州地域部会を開催させていただきましたが、会員自治体の方々の**再犯防止**や**地方創生に向けた意気込み**について、**生の声を聞くこと**ができ、とても実りある会議になったと思います。ぜひ、来年度も一同に介した地域部会としたいですね。

福原…豊後大野市には大分少年院が所在していますが、市と大分少年院ではどのようなかわりがありますか。

川野…大分少年院での授業や運動会、二十歳を祝う会など

各種行事に出席させてもらっています。先日は、意見発表会という行事に参加しましたが、更生への決意を発表するとても良い場だと思いました。また、大分少年院は豊後大野



市として合併する前の三重町において誘致した施設であり、**地域も共に歩んでいきたい**という思いがありますし、**地域が絡むこと**によって、**孤立させないことも大切だ**と思っています。

福原…矯正施設退所者が立ち直るために必要なことについてお考えをお教えいただけますか。

川野…私は、何より本人が立ち直りたいという**気概を持つ**ことが欠かせないと思います。立ち直りに向けた道のりは厳しいものがあるでしょうが、矯正施設の職員や黒木保護司をはじめとした**立ち直りを支えてくれる方がたくさんいらっしゃる**ので、力を借りながら前に進んでほしいと思います。

福原…我々矯正施設の職員についても、彼ら彼女らが立ち直るんだという**気概を持つ**て施設を退所できるように意欲喚起に努めてまいります。

地域で出所者等を受け入れることの難しさについて何かあれば教えてください。

川野…差別の心というのはなかなか解消されないのが現実であると思っています。ここ最近であれば、新型コロナウイルスの医療従事者への差別がありました。人は警戒をする生き物です。共生社会といっても、実際は難しい。**大切なことは啓発活動を地道に続ける**ことです。社会を明るくする運動などを通して、引き続き地域の理解を求めています。

きたいと思っています。

福原…最後に、これから矯正施設退所後、豊後大野市において社会復帰をする方々に対し、**応援メッセージ**をいただければ幸いです。

川野…豊後大野市は大分少年院を誘致した自治体であり、罪を犯してしまった人に対する理解度は比較的高いと思っています。豊後大野市に帰ってくる人に対しては、「**ようこそ、よく帰ってきてくれました。』という気持ちで迎えます**ので、帰ってくる方々も**「更生するんだ。」**という強い**気概を持って帰ってきてほしい**と思います。

福原・岡部…本日は貴重なお時間を割いていただき誠にありがとうございました。



検証!当事者の語りから学ぶ立ち直りのリアル



(出典：令和5年版再犯防止推進白書)

社会復帰を果たした 当事者の語り

令和5年3月に閣議決定された「第二次再犯防止推進計画」には、7つの重点分野に96の具体的施策が盛り込まれています。

令和5年版再犯防止推進白書の特集では、左記の施策に注目し、社会復帰を果たした4名の当事者の語りを掲載して、そこから見えてくる離脱の要因を分析しています。

再犯防止施策の効果検証の充実と

検証結果等を踏まえた施策の推進

【施策番号93】

法務省は、就労支援を受けた者のその後の就労継続の状況や薬物依存のある者を地域における治療・支援につなげることによる効果を把握する方法を検討するなど、再犯の防止等に関する施策についての効果検証の一層の充実を図る。また、効果検証の結果や、**社会復帰を果たした者等が犯罪や非行から離脱することができた要因を踏まえ、**施策の見直しを含め、再犯の防止等に関する施策の一層の推進を図る。

当事者の語り

(令和5年版再犯防止推進白書から一部抜粋)

50代男性

良識ある大人達の伴走的な関わりのおかげで、仕事や学校を続けることができ、**価値観や考え方が変容し**立ち直ることができました。

20代男性

離脱に向けて進み始めるためのターニングポイントは、**勉強することを決め、その決意を行動に移した**ことだったと考えています。

女性

今の自分があるのは、これまでの人生、**多くの人に助けてもらえた**からだ。そして、再び犯罪することなくこれたのは、4人のこどもの存在が大きく影響している。**心のブレーキ**となった。

40代男性

刑務所在所中から出所後の就職先が決まっていたことも立ち直りの重要なポイントでした。**生活資金のめどが立っていたことや、社員寮への入居により衣食住が保障されていたことで、出所後の生活に関する不安が軽減され、**落ち着いて新しい生活を送ることができました。

犯罪や非行からの 離脱の要因

離脱の要因

今回の特集では、4名の当事者の語りの中にある共通点を整理し、そこから浮かび上がる離脱の要因として、次の4つを挙げています。

- ◇ 立ち直りへの動機
- ◇ 衣食住の確保と仕事・学業の安定
- ◇ 良好な人間関係の構築
- ◇ 自己肯定感及び自己有用感の形成

犯罪や非行からの離脱は、ある日突然、劇的に起こるものではなく、段階的・長期的な変化の過程といえます。そして、それは当事者によって様々です。一定の傾向を見いだすためには、更に多くの当事者の語りを分析する必要があります。



※写真はイメージ

質問やご意見、取り上げてほしい事項などありましたら、当課までお気軽にご連絡ください。

お問合せ先

福岡矯正管区 更生支援企画課 福岡市東区若宮5丁目3番53号
TEL:092-661-1143 (直通) FAX:092-663-1001
MAIL:1.fukuokakyousei.9jf@i.moj.go.jp



宮崎 刑務所



所在地：宮崎県宮崎市



宮崎市

あなたの街の
矯正
施設
Vol.10

POINT

部署の枠を超えた 矯正処遇

矯正処遇

宮崎刑務所は、明治7年、宮崎郡大島村で宮崎懲治場として収容を開始したのがスタートです。以来、約150年の歴史があります。昭和51年に現在地に移転し、移転後47年が経過しています。当所は、受刑者が日中の大半を過ごす工場で指導等を行う工場担任者を受刑者処遇の中心として位置づけています。施設が大規模でない分、他の部署の職員が工場担任者の取組をサポートするなど、**部署の枠を超えた取組**を実践しています。



就労支援の様子

再犯防止の取組

当所は、受刑者の就労先を安定して確保するため、「**在所中の採用内定**」に力を注いでいます。努力のかいもあってその実績は、犯罪傾向の進んだ受刑者を収容する刑事施設の中でもトップクラスを誇っています。

また、再犯防止推進にも意欲的に取り組み、県職員だけでなく県議会議員や市議会議員に対しても積極的に当所の運営に関する説明を行うことで、共通認識の醸成を図り、**強固な連携体制**を構築しています。

さらに、新たな取組として特定の対象者に対し、**再犯防止ミーティング及び社会情勢指導を実施**し、受刑者の特性に応じた指導に取り組んでいます。



▲就労支援指導の様子

VOICE

現場職員の声

就労支援担当

刑務所出所者等の再犯防止を加速化する上で、住居と就労の確保が急務であるところ、**当所も就労支援や福祉的支援などの出口支援を強化しています。**

先般、満期釈放が見込まれる72歳の受刑者に対する就労支援を実施しました。帰住を希望する県での採用内定を得たものの、「帰住不可」となり、住居などの生活環境が整っていない状況でした。出所日が迫る中で、福祉的支援にて地域の関係機関と連携を図り、採用が内定した事業所から近い地域で住居を確保することができました。

当所では、就労支援と福祉的支援は、別の係の職員が行っています。今回の受刑者に対する出口支援では、係同士の専門性を生かした連携と地域から得られる協力体制の歩調を合わせることで、無事に本人が希望する県での住居と就労の確保につながりました。このことで、所内での連携の質を改めて実感しました。

今後とも地域との結び付きを広げ、各担当部門の枠をこえた連携を深めながら、更なる支援体制の強化を進めたいと思います。

